



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ○探究学習の工夫・充実 ○サポートルームの開設・運営

これからも大切な非認知能力

近年、教育現場で重視されているのが「非認知能力」の育成です。人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の2種類に分けられます。

それぞれの能力を簡単に紹介しますと、「認知能力」とは、テストの点数や偏差値といった数値で表せる力で、「非認知能力」とは、数値では表せない能力のことです。これからの時代を生きるために、幸せな人生を切り拓くために必要な能力なのです。

例えば、右に挙げる能力のことです。

簡単に言いますと、「目標を決めて取り組む」「意欲や興味を持つ」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」といった力で、日常生活、社会活動において、重要な影響を及ぼす能力のことです。

県内外の学校でも、非認知能力を意図的に育てていこうという動きが見られてきました。

本校では、非認知能力を育てる時間として、「総合的な学習の時間」において、ソーシャルスキルトレーニング（SST）の時間や進路、生き方、健康に関する講話等の他に、第2学年において、「鹿児島未来探求プロジェクト（探究学習）」に取り組んでいきます。

非認知能力

- 問題解決力
 - 意欲
 - 忍耐力
 - 自制心
 - 創造性
 - コミュニケーション能力
 - 主体性
- など

令和5・6年度 鹿児島市研究協力校（総合的な学習の時間）に指定



新しい時代に求められる生徒に育成すべき資質・能力の一つとして、上述の「非認知能力」を含む「学びに向かう力」が注目されています。地域社会の力を活用し、教室の壁を越えて、生徒が現実社会とつながり、一つの決まった正解ではなく、自分自身の正解を見つけていく探究的な学び（「鹿児島未来探求プロジェクト」）を展開していきます。

この「鹿児島未来探求プロジェクト」は、本校の生徒が、地域の企業と共に、自分たちの暮らす地域の新しい可能性を発見し、その地域をよりよくしていくためのイノベーションを起こしていく探究的な活動です。

本校は、令和5・6年度の鹿児島市研究協力校に指定され、この研究の成果を令和6年度末に公開する予定です。保護者や地域の皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

※ 地域の企業との連携・協働による社会に開かれた教育課程の工夫・改善に取り組んでいきます。